

（業務名称） 2025-2027年度世界の人々のためのJICA基金活用事業における伴走支援
（公告/公示日：2025年6月20日／公告番号：25a00164）について、入札説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
国際協力調達部次長（契約担当）

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	P. 15	第2 業務仕様書（案） 3. 委託業務内容 3-2. 各業務の内容 (3) 伴走支援制度向上のための会合の企画実施	●会合の開催地は、どこを想定しているのでしょうか。 ●会場が発注者の施設となる場合には、会場費は不要という理解でよろしいのでしょうか。 ●もし、会場が外部の施設となった場合、その使用料は直接経費からは支出できず、受注者の負担となるのでしょうか。	●会合の開催地は、伴走支援先の団体にとって打ち合わせしやすい場所を検討いただければと思います。 ●JICA国内機関等の発注者の施設の場合、会場費は不要です。 ●外部会場での開催となる場合、使用料は直接経費（定額計上）から支出し、精算してください。 P. 41/70「積算様式」について、「2. 直接経費（税抜）」→「2. 直接経費（税抜）（定額計上）」に変更し、別紙等に修正版を掲載いたします。
2	P. 16	第2 業務仕様書（案） 3. 委託業務内容 3-2. 各業務の内容 (4) 伴走支援業務に資する情報の取り纏め	「効果的な伴走支援コンサルティングの実施に資する資料のアイデアがあれば、必要経費を積算にも含めた上で技術提案書にて提案すること」とありますが、その経費は、一般的に直接経費とされる経費であっても、業務の対価に含めるということでしょうか？	当該資料の作成や実施等に必要な業務時間は業務の対価として、一般的に直接経費とされる支出については直接経費（定額計上）に含めます。 P. 41/70「積算様式」について、「2. 直接経費（税抜）」→「2. 直接経費（税抜）（定額計上）」に変更し、別紙等に修正版を掲載いたします。
3	P. 18	第2 業務仕様書（案） 6. 業務実施体制及び業務量 （3）業務総括者および業務従事者の配置人日（目安）	表で示されている業務量は、1年あたりのものという理解で正しいでしょうか？	ご理解のとおりです。
4	P. 38/70	評価表	業務総括者の想定業務量が、業務従事者に対して極端に少ない一方で、業務総括者の方が配点が高くなっていますが、これで正しいでしょうか。	掲載している評価表の配点で間違いありません。
5	P. 42/70	第5 契約書（案）	今回の業務の対価は、単価計上・日額計上が混合する形ですが、契約書案が単価契約用になっています。使用する契約書は、これで正しいでしょうか。	ご指摘ありがとうございます。正しくは「業務委託契約書」となります。別紙等に修正版の契約書（案）を掲載いたします。
6	P. 67/70	第5 契約書（案） 別添2 「個人情報保護及び情報セキュリティに関する情報」	●情報セキュリティ責任者と個人情報保護管理者はそれぞれ別の人物とすべきでしょうか。（品質保証管理者は、本案件では不要と理解しています。） ●JVの場合、構成員ごと必要でしょうか。	●情報セキュリティ責任者と個人情報保護管理者は、別の人物にして頂く必要はございません。品質保証管理者は本件では不要です。 ●JVの場合、構成員ごとにご提出をお願いいたします。

説明書の訂正				
通番	該当頁	項目	訂正前	訂正後
7	P. 41/70	積算様式	2. 直接経費（税抜）6, 000, 000円	2. 直接経費（税抜）（定額計上） 6, 000, 000円
8	P. 42/70 ～68/70	第5 契約書（案）	業務委託契約書（単価契約）	業務委託契約書